

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	大淀町における快適で活力ある暮らし・環境の実現（第二次）（重点計画）														
計画の期間	平成30年度 ～ 平成32年度（3年間）										重点配分対象の該当		○		
交付対象	大淀町														
計画の目標	大淀町において、効率的な下水道整備を行うことにより、生活環境の改善及び公共用水域の水質改善を図り、快適で活力ある暮らし・環境を実現する。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		484	A	449	B	0	C	35	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		7.23	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H30)	(H31)	(H32)
1	下水道処理人口普及率を85%から87%に向上させる。			
	下水道処理人口普及率	85%	86%	87%
	下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	大淀町	直接	大淀町	管渠（ 污水）	新設	第 6 処理分区（未普及対 策）	污水管 φ 200 L=1. 0km	大淀町	■	■	■			120		未策定
	A07-002	下水道	一般	大淀町	直接	大淀町	管渠（ 污水）	新設	第 5 処理分区（未普及対 策）	污水管 φ 200 L=0. 3km	大淀町	■					3		未策定
	A07-003	下水道	一般	大淀町	直接	大淀町	管渠（ 污水）	新設	第 4 処理分区（未普及対 策）	污水管 φ 200 L=0. 6km	大淀町	■	■	■			70		未策定
	A07-004	下水道	一般	大淀町	直接	大淀町	管渠（ 污水）	新設	第 1 0 処理分区（未普及 対策）	污水管 φ 200 L=7. 0km	大淀町	■					34		未策定
	A07-005	下水道	一般	大淀町	直接	大淀町	管渠（ 污水）	新設	第 8 処理分区（未普及対 策）	污水管 φ 200 L=0. 8km	大淀町	■	■	■			90		未策定
	A07-006	下水道	一般	大淀町	直接	大淀町	管渠（ 污水）	新設	第 3 処理分区（未普及対 策）	污水管 φ 200 L=0. 3km	大淀町	■	■	■			30		未策定

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	大淀町	直接	大淀町	管渠（ 污水）	新設	第 7 処理分区（未普及対 策）	污水管 φ 200 L=0. 3km	大淀町	■	■	■			30		未策定
	A07-008	下水道	一般	大淀町	直接	大淀町	管渠（ 污水）	新設	第 1 1 処理分区（未普及 対策）	污水管 φ 200 L=0. 6km	大淀町	■	■	■			72		未策定
											小計						449		
											合計						449		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	大淀町	間接	個人	管渠（ 污水）	新設	土田・桧垣本・新野・下 渚地区等の各戸排水設備 設置の助成	宅内排水設備200戸分	大淀町	■	■	■			22		未策定
		地域住民に各戸排水設備設置を助成することで、個人負担の軽減を図り、公共用水域（吉野川等）の水質保全につながる早期の水洗化に住民自らも取り組むことができる。																	
	C07-002	下水道	一般	大淀町	間接	個人	管渠（ 污水）	新設	土田・桧垣本・新野・下 渚地区等の下水道接続に 伴う助成	下水道接続に伴う浄化槽撤去 補助100戸分	大淀町	■	■	■			8		未策定
		単独・合併浄化槽から下水道への切替に対し、地域住民に撤去費用を補助することで、水洗化の促進を図る。																	
	C07-003	下水道	一般	大淀町	直接	大淀町	管渠（ 污水）	新設	下水道BCPの策定	下水道BCP策定	大淀町		■				5		未策定
		下水道BCP策定により、地震時における被害を事前に想定し、また体制を確保しておくことにより、地震時に高いレベルで下水道の機能を確保できる。																	
											小計						35		
										合計						35			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
目標値は下水道処理人口普及率といった客観的に算定される数値であり、施設課により達成状況を検証し評価を行った。	令和5年4月
	公表の方法
	大淀町ホームページ
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・下水道人口普及率が平成30年度当初の85%から令和2年度末の87.2%に向上したことにより、公衆衛生の向上と公共用水域の水質保全に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
今後も、経営戦略等を踏まえながら、より健全かつ持続可能な下水道事業の推進を目指している。今後とも下水道処理人口普及率の向上と健全な事業経営に努める。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	大淀町における下水道処理人口普及率		
	最 終 目標値	87%	
	最 終 実績値	87%	

(参考様式2)

